

(参考)

1. 研究開発課題の公募テーマ

以下のいずれかに該当する研究開発課題を公募の対象とします。

(1) 一般分野

安全で豊かな住宅・社会資本整備に資する研究開発

災害に強く安全で、美しい日本の再生と都市の再構築等による質の高い生活の基盤創成など、住宅・社会資本整備のための研究開発

環境問題解決のための研究開発

地球環境問題の解決、化学物質の環境管理、循環型社会の構築及び自然共生型社会の構築のための研究開発

住宅・社会資本整備のためのソフト・ハードの情報技術推進に資する研究開発

住宅・社会資本に係る高度情報化技術及び生活者とのコミュニケーション技術などの人文・社会科学と連携したソフト技術の推進に資する研究開発

(2) 総合技術開発プロジェクト関連分野

自然共生型国土基盤整備技術の開発に資する研究開発

水循環や生態系の回復・再生を通じて流域圏の観点からの自然共生型都市再生を実現していく国土整備プログラムを開発することを目的に実施する総プロ「自然共生型国土基盤整備技術の開発」の推進に資する以下の研究開発

- ・ 環境中における化学物質等の変容メカニズムに関する研究開発

公共水域中に放出された各種の病原体・化学物質が受ける作用や、その作用に影響を与える因子の解明により、流域圏・都市の水環境再生のための基礎的知見の一層の向上に資する研究開発

- ・ 汚濁負荷低減のための浄化手法に関する研究開発

都市・農地等における雨水排出による面的汚濁源の制御のため、湿地など自然の機能を活かした浄化機構を強化・補完する浄化施設・システム等の開発により、流域圏・都市の水環境への汚濁負荷の一層の低減に資する研究開発

社会資本ストックの管理運営技術の開発に資する研究開発

今後の土木構造物・建築物・住宅等の社会資本ストックの管理運営について、環境及び財政面の厳しい制約下で、ストック維持・活用型への本格的な転換を図るため、社会資本の戦略的なストックマネジメント計画技術を開発することを目的に実施する総プロ「社会資本ストックの管理運営技術の開発」の推進に資する以下の研究開発

- ・ 耐用年数に関する高信頼性の定量化手法に関する研究開発

社会資本ストックの耐用年数の精緻な定量的予測を行うために、土木構造物・建築物を対象として広範囲に適用が可能な、高信頼性の手法の開発により、戦略的なスト

ック・マネジメントのための基礎的知見の一層の向上に資する研究開発。

2．建設技術研究開発助成制度評価委員会について

以下の学識経験者等からなる建設技術研究開発助成制度評価委員会では、研究開発課題の公募テーマに係る検討、応募終了後の採択課題の検討及び研究開発成果の評価を行うこととしている。

委員長	濱田 政則（早稲田大学教授）
副委員長	村上 周三（慶應義塾大学教授）
委員	稲村 肇（東北大学大学院教授）
”	小谷 俊介（東京大学大学院教授）
”	柏原 士郎（大阪大学教授）
”	嘉門 雅史（京都大学大学院教授）
”	神崎 正（大成建設（株）技術センター土木技術開発部長）
”	小松 利光（九州大学大学院教授）
”	西川 孝夫（東京都立大学大学院教授）
”	長谷見雄二（早稲田大学教授）
”	前川 宏一（東京大学大学院教授）
”	三木 千壽（東京工業大学教授）
”	森地 茂（東京大学大学院教授）
”	吉野 博（東北大学教授）

（以上敬称略、五十音順）